



国府小だより

第7号

令和5年6月19日(月)



学校HP QRコード



本日より 1学期2回目家庭学習チェック週間が始まります。

第2回家庭学習チェック 6月19日(月)～6月23日(金)

前回のチェック週間から約1か月たちました。学習時間やスクリーンタイム(テレビ・スマホ・ゲーム・動画時間)が引き続き守られている子、スクリーンタイムが長くなってきた子などいると思いますが、夏休みまであと1か月。1学期のまとめのこの時期に、1学期習ってきたことの復習も入れながら家庭学習をがんばりましょう。

音読の宿題はなぜ毎日出ているのかな？

音読(暗唱)と単純計算は脳科学の立場から脳を活性化させ、子どもの荒れ・キレも防ぐことが明らかになっているそうです。また音読をすることで言語に関する感受性が増大し、授業や人の話が聞けるようになり、話をする力もついてくると言われています。また、集中力や記憶力・発想力を高め、ストレス解消効果や精神安定効果までであるといいことづくめです。20年前ぐらいから、脳科学より検証される文献が多くで、本屋さんには高齢者むけに「脳トレ」「脳活」の本がたくさん並ぶようになりました。私が担任のころは、まず音読をして脳を温めてから、計算や漢字学習をするようにすすめていました。大きな声(怒鳴ってはだめですけど)で頭蓋骨の中でピンピン響かせ、脳に刺激を与えてみましょう。大人も一緒にやってみてはどうでしょう。スッキリするかもしれません。

「パワーアップ読み上げ計算」を全校で取り組みます。

4月に行われた全校学力調査の結果から、本校児童の弱みの中に基礎学力の定着が厳しい児童の割合が多いということができました。高学年でも「九九が言えない」中学年でも「くり上がり・くり下がり」のたし算ひき算が指を使わないとできない」既習学年の「漢字が書けない」などです。そこで他校でも実施され成果が出ているという「読み上げ計算」に全校で取り組むことにしました。

「読み上げ計算」とは音声計算練習で答えを声に出して、本を読んでいるかのように読んでいく方法です。まず、はじめに計算シートを見て、答えを声に出していきます。(1分間)次に2人組のペアで一方は答える役、もう一方は答えを聞いて確認してあげる役として1分間相互に練習をします。

高学年では授業で行いますが低学年ではまだ相手の答えを正確に聞きとるのが難しいところがありますので、宿題でも出していきますので、おうちの人が聞く役をしていただきたいと思います。計算シートすべてを読むのではなく、1分間に読める数を増やしていくのが目的です。1分間ご協力よろしくお願ひします。

第1回 家庭学習チェックより

学習時間 5日間の平均時間

	0~29分	30~39分	40~59分	60~89分	90分~	120分~
1年	25	6	7	3	2	0
2年	2	23	17	2	1	1
3年	0	4	29	13	2	3
4年	1	3	24	17	4	3
5年	1	2	9	22	17	6
6年	0	3	7	31	5	4

- どの学年もめあての時間より多く学習することができていました。
- 時間内に宿題が終わった後は、計算や漢字など自分で課題を決めて取り組んだり、読書をしたりと自主的に学習する姿が高学年では見られてきました。
- 机に向かう時間が定着してきている人は自主学習のすすめを見ながら、内容を考えていきましょう。
- 全学年に習ったことは必ずできるように何度も復習をしましょう。

テレビ・スマホ・ゲーム動画の時間

	0~29分	30~39分	40~59分	60~89分	90分~	120分~
1年	13	6	12	11	1	0
2年	10	11	14	9	2	0
3年	18	11	13	6	2	1
4年	21	6	12	8	2	3
5年	29	4	13	9	0	2
6年	7	5	14	9	8	7

- 昨年に比べて、2時間以上が随分少なくなりました。この期間だけのお子さんもいるかもしれませんが、「できる」ということがわかったので、「やらなければいけないときはやる」で応援していきたいと思います。
- 30分以内に人の「ふりかえり」や「おうちの人より」を見せていただくと、
 - ・家族でトランプをしました。
 - ・家族でいろいろな話をしました。
 - ・外で遊ぶ時間が増えました。
 と家族のかかわりのことを書かれている人が多かったです。小学校のうちに太い太いパイプを作っておくことが、これから成長していくお子さんとの関係づくりに大切だと思われれます。(神原は反省しています)
- 家族みんなで動画時間は取組んでもらうと子どもも心強いと思います。